

第一・第二中学校区

適正化推進委員会たより No. 4

令和3年4月 発行

沼津市教育委員会事務局 教育企画課

所在地：沼津市御幸町 16-1

TEL：055-934-4821

E-mail：kyouiku-ki@city.numazu.lg.jp

日頃より本市の教育行政に御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

今回のたよりでは、令和3年3月18日（木）に開催した令和2年度第4回推進委員会での資料や協議の様子等を中心にお知らせします。



中学校2校の統合先の決定に向けた協議を行いました。

これまで教育委員会では、児童生徒の教育環境を最優先に考え、適正化の方針を早期に決定することを目指して取り組んでいます。前号でお知らせした保護者意識調査の結果の他、施設設備の状況や統合による影響、災害リスク、経費など、様々な角度から比較検討してきました。また、保護者の代表や地域の代表の皆様などからも、数多くの御意見や御要望をいただきました。さらに、市役所内では、適正化の取組に係る課による協議も繰り返し行ってきました。

令和3年3月18日（木）に開催した令和2年度第4回推進委員会では、主に、中学校の統合先について、推進委員の皆様から御意見をいただきました。



第一中と第二中の比較及び委員の意見と会議後の教育委員会の考え

1 保護者意識調査（「統合先として適当であると思う学校」について）

- ・第一中学校区の保護者で「第一中学校」と回答したのは9割を越えている。
- ・第二中学校区の保護者で「第二中学校」と回答したのは4割程度に留まる。

2 通学について

- ・蓼原町の生徒が第一中へ通う場合、第二中へ通うよりも8～9分余分に時間が掛かる。
- ・大手町一丁目の生徒が第二中へ通う場合、第一中へ通うよりも7～8分余分に時間が掛かる。
- ・どちらに通う場合でも、全生徒が沼津市の規定する通学距離や通学時間の範囲内である。
- ・遠距離となる生徒の通学については、自転車通学を検討することも考えられる。

※委員の意見

- ・第一中になった場合でも、10分程度の増加は中学生であれば大丈夫であろう。
- ・数字だけ見れば、両校区の真ん中に近い第二中の方がよい。
- ・蛇松緑道を通学路に利用できるとよい。
- ・自転車通学は事故が心配である。
- ・スクールバスの検討やバス代の補助も考えてもらいたい。
- ・地域としては、子供たちの登下校の安全や安心を支える取組ができないか検討したい。

3 災害リスク

- ・校舎については、両校とも東海地震に対する耐震性能を有する「ランクⅠ」に分類される。
- ・校舎については、両校とも津波の想定浸水域ではない。
- ・校舎が建築されている場所では、両校とも液状化が発生するリスクはない。
- ・南海トラフを震源とする地震の震度は、第一中付近で震度6強、第二中付近で震度6弱と想定されている。

※委員の意見

- ・第一中の方が建物はよいので安心だが、第二中は47年経っている点が危惧される。
- ・外から来た第一中学校区の保護者には、津波に対する漠然とした不安がある。
- ・子供が学校にいる時に災害が起きた場合、少しでも新しく耐震性が高い建物の方がよい。
- ・第二中も立て替えれば新しくなり、雨漏りや耐震性能なども解消される。
- ・地域としては、いかに学校を支え子供たちを助けられるかということを考えていきたい。
- ・第一中については、校舎は大丈夫でも通学路や周辺の液状化リスクを考えるべきである。

★教育委員会の考え

- ・第一中で統合する場合、丸子町・松下町・東間門・西間門の一部に住む生徒は、第一中敷地よりも西側に分布する液状化の危険度大とされるエリアを通ることとなり、また、大手町の一部は液状化の危険度大とされるエリアであるため、大地震により液状化が発生した場合には、迂回して通学する必要がある。
- ・第一中・第二中のどちらで統合する場合においても、常盤町及び千本常盤町、下河原町の一部と千本西町、千本中町、千本東町、蛇松町、千本港町、春日町、蓼原町に住む生徒は、第二小敷地よりも南側に分布する液状化の危険度大とされるエリアを通ることとなり、大地震により液状化が発生した場合には、迂回して通学する必要がある。

4 施設・設備

- ・校舎の耐震性能は、第一中がランク I a、第二中がランク I b であり、構造的には第一中の方が丈夫な建物である。

[参考：耐震性能のランク]

I a…軽微な被害に留まり、地震後も建物を継続して使用できる。

I b…倒壊する危険はないが、ある程度の被害を受けることが想定される。

- ・運動場は、両校とも授業や部活動に支障のない広さであるが、面積は第二中の方が広い。
- ・令和28年度までの校舎の改修や更新経費については、3億3千万円程度、第二中の方が多くかかる試算となっている。

※委員の意見

- ・グラウンドは広いに越したことはない。
- ・建物は新しい方がよい。
- ・子供たちのためを考えれば、お金をかけてでも第二中の建て替え予定を前倒しにし、よい施設を作ってもらいたい。
- ・第一中については、高架化工事の影響を絶対に言わなければならない。
- ・どちらで統合するにしても、防災機能はしっかりと担保してほしい。

★教育委員会の考え

- ・第一中付近の鉄道高架化による工事は、現在の線路北側で行われることから、大型の工事車両が学校の敷地に隣接する道路に影響を与えることは想定されない。また、騒音や振動などについては、環境基準が遵守されるものと確認している。

保護者説明会を開催します。

令和3年4月8日(木)、9日(金)、12日(月)、13日(火)の4日間、未就学児から中学校1年生までの保護者を対象とした保護者説明会を開催します。丁寧な説明を行い、御意見や御要望をしっかりと伺って、適正化の方針決定や今後の検討事項の協議に生かしていきたいと考えています。なお、説明会の資料(中学校施設の比較資料等)は、出席されなかった保護者の皆様にも、後日配布する予定です。

今後の取組について

今年度の早い時期に適正化の方針を決定する予定です。小学校3校については、これまでもお知らせしてきたとおり、第一小学校で統合する方向で現在調整中です。中学校について、これまでの推進委員会で挙がった御意見や保護者の皆様の御意見等を踏まえ、様々な比較を行い、市役所内でも、課題とその対応などに関する検討を経た上で、教育委員会が責任をもって決定します。決定後は、統合における諸課題(校名、校歌、校章、制服、通学等)について、児童生徒や保護者の皆様の御意見、学校の考えなどを伺いながら、推進委員会でも協議をしていきます。また、学校は、統合に向けたカリキュラムの編成に向けた検討や統合までの交流の取組を進めていきます。お気づきの点や御意見、御要望等がありましたら、教育企画課まで御連絡ください。

